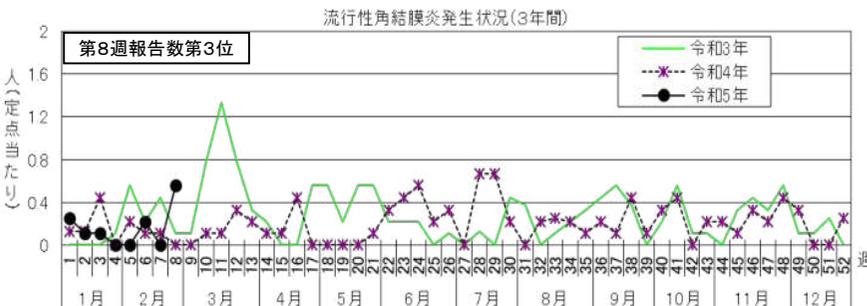
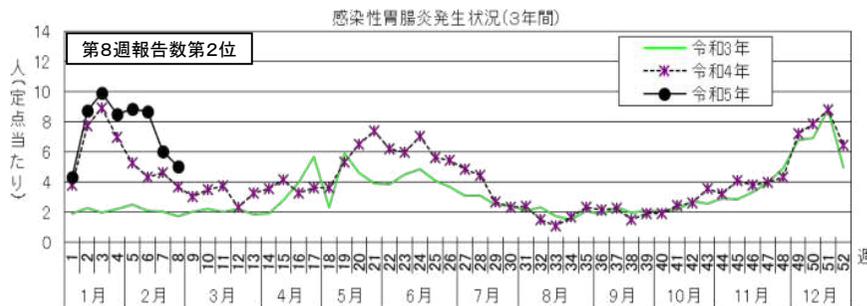
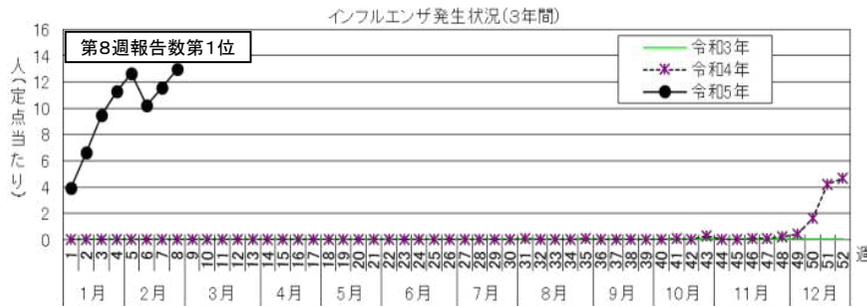


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年2月20日（月）～令和5年2月26日（日）〔令和5年第8週〕の感染症発生状況

第8週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 流行性角結膜炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は12.95人と前週(11.56人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.03人と前週(6.03人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.56人と前週(0.00人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



「子ども予防接種週間」3月1日（水）～3月7日（火）

令和5年3月1日～7日は「子ども予防接種週間」です。予防接種法に基づくお子さんの定期予防接種は、赤ちゃんがお母さんから受け継いだ免疫が薄れてくる時期、病気にかかりやすい年齢や重症化しやすい年齢等に応じて、接種する時期や期間、回数等が定められています。

特に小さいお子さんの予防接種は、遅れると重症化や合併症のリスクにつながります。お子さんの健やかな成長のために、母子健康手帳で予防接種歴を確認し、接種が済んでいない場合は、期間内に確実に接種をしましょう。

子どもを対象とする定期接種で 予防できる感染症

- ◆ ロタウイルス感染症
- ◆ Hib感染症(ヒブワクチン)
- ◆ 小児の肺炎球菌感染症(小児用肺炎球菌ワクチン)
- ◆ B型肝炎
- ◆ ジフテリア、百日せき、ポリオ、破傷風(1期: DPT-IPV)、(2期: DT)
- ◆ 結核(BCG)
- ◆ 麻しん・風しん(MR)
- ◆ 水痘
- ◆ 日本脳炎
- ◆ ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん予防ワクチン)



予防接種を受けるにあたって

予防接種を受けるにあたっては、川崎市の予診票を記入していただく必要があります。また、定期予防接種を無料で受けるためには、次の条件を満たしていることが必要です。

- (1) 川崎市に住民登録をしていること
- (2) 受けようとする定期予防接種等の対象者に該当していること
- (3) 川崎市内の予防接種個別協力医療機関で接種を受けること

問合せ先

川崎市予防接種コールセンター
 電話番号: 044-200-0142
 受付時間: 午前8時30分から午後5時15分まで
 月曜日から金曜日(祝日、年末年始除く)